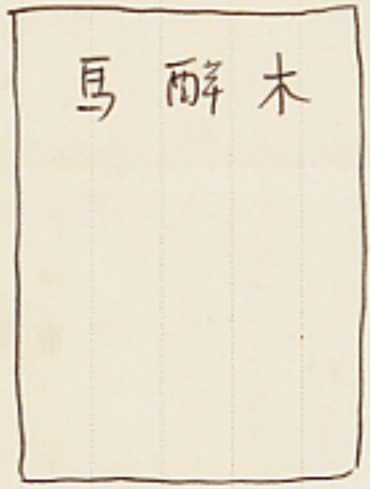
No. 1

拝啓

御かはりもなく御清栄の御こと、存じ上げます。

さて、まことに勝手な御願にて、恐れ入りますが、御きゝ入れ下さらば忝けなく存じます。

それは恩地孝四郎氏に馬酔木の表紙の文字を書いていたゞきたいことにて、小生も同氏を知っておりますが、特別に御懇意の大兄より御願ひいたゞく方が恩地氏の御快諾を得やすいと思ひ、御願申上げる次第で御座います。



要領は、文芸春秋の文字よりやゝ大きめに、左から書いていたゞきたく、表紙絵は当分のあひだ洋画を使ふつもりでをります。

恩地氏には四月号五月号の馬酔木を呈上してありますから、御覧下さつたこと、存じます。

期日は五月七日までに頂戴仕りたく、御礼はまことに些少にて御恥しき次第ながら参千円用意して御座います。

No. 2

右のやうな次第にて、大兄を御使ひ立てし、まことに申わけない儀で御座いますが、恩地氏へ御話願へませうや、御返事いたゞければ忝けなく存じます。

いづれ拝眉いたしたく存じますが、先はとりいそぎ御願まで

四月二十四

水原秋桜子

井上康文様

八王子局區内
中野町東一ノ二九九
水原秋桜子

四月二十四